

第5章 保育・教育的要求の整理（意見要望の整理）

おとなの共通の願い

生きる力

生きる力の定義

※出所：文部科学省「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編」p.22

- 基礎・基本を確実に身に着け、いかに社会が変化しようとして、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力 = **【自ら学ぶ力】**
- 自らを律しつつ、他人とともに協調する力 = **【自ら学ぶ力】 【豊かな心】**
- 他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性 = **【豊かな心】**
- たくましく生きるための健康や体力 = **【健康な体】**



国見学園CSが目指す子どもの姿そのもの

第5章 意見要望の整理（目指す子どもの姿）

自ら学ぶ力

- ・ 自分で判断できる力
- ・ 自分で動ける力
- ・ 考える力・思考力
- ・ 想像力
- ・ 柔軟な発想力・対応力
- ・ 興味を突き詰める力
- ・ 挑戦する力
- ・ 自分の意見を持つ
- ・ 表現する力
- ・ 問題解決力
- ・ 情報活用力
- ・ 追及できる力
- ・ 積極的に取り組む力
- ・ 技術を身に着ける力
- ・ 相談力
- ・ 目的・目標をもって学ぶ力
- ・ 失敗しても諦めない力
- ・ 最後までやり抜く力
- ・ 応用力
- ・ スピーチ力
- ・ プレゼンテーション力

第5章 意見要望の整理（目指す子どもの姿）

豊かな心をはぐくむ

- ・ 協調性・助け合える
- ・ 互いの良さを認め合う
- ・ コミュニケーション力
- ・ 思いやり
- ・ 相手意識を持つ
- ・ 多様性を受け入れる力
- ・ あいさつができる
- ・ 人との関わりを楽しめる力
- ・ 規範意識・モラルがある
- ・ 自主的に遊ぶ
- ・ 大人を敬う
- ・ 夢を持つ
- ・ 環境に対応できる
- ・ 自己肯定感が高い
- ・ 人を大切にする
- ・ 自分の価値観がある

健康な体をはぐくむ

- ・ 心身の健康
- ・ 自己管理
- ・ 体力がある
- ・ わんぱく
- ・ よく食べる

第5章 意見要望の整理（目指す子どもの姿）

町民の願い

郷土愛をはぐくむ場

- ・ 国見を知り支えてほしい
- ・ 国見町民としての誇り
- ・ 地域のリーダー的存在となる
- ・ 地域に還元できる



子どもたちの素養・資質

- ・ 優しい
- ・ 明るい
- ・ 前向き
- ・ 元気に
- ・ まじめ
- ・ 自分らしい
- ・ 夢を持つ
- ・ 素直
- ・ 一生懸命頑張る

第5章 意見要望の整理（必要な保育・教育環境）

施設・設備（屋内）

【教室関係】

- ・ ICT環境の充実（電子黒板・デジタル教科書等） ・ 広い教室（ICT、コロナ対応）
- ・ 可動性のある教室 ・ オープンスペースとクローズドスペースの両立
- ・ 机、いすは広く軽いもの ・ 学年ごとの学習センター ・ 教科ごとのエリア
- ・ 不登校の子が登校できる教室 ・ 発達段階に応じた専用スペース
- ・ 遊びの中で長さ、形、数が自然に学べるような施設
- ・ 学びと遊びのメリハリがある教室の配置、内容 ・ 病後児保育室

【職員室関係】

- ・ 職員室は1か所に ・ 教職員が休める部屋 ・ 教職員更衣室

【その他諸室】

- ・ 図書館の充実 ・ ランチルーム ・ シャワールーム ・ 見学できる給食室
- ・ 縦割り交流ができる多目的スペース ・ 天候に左右されない遊び場
- ・ エアコン完備の体育館 ・ （半）屋内プール ・ 備品収納スペース
- ・ 共同でのものづくりスペース ・ ステージ発表のできる冷暖房完備のお遊戯室

第5章 意見要望の整理（必要な保育・教育環境）

施設・設備（屋内）

【その他機能・環境等】

- ・主体的に学べる環境
- ・木のぬくもり、木造
- ・バリアフリー
- ・絵本に親しめる環境
- ・保護者が集える場所
- ・公営塾の併設
- ・プライバシーを守れるスペース
- ・エレベーター
- ・清潔なトイレ（多目的含む）
- ・避難できるベランダ、外階段
- ・逃げ場、リラックスできる場所
- ・給食の残菜を肥料にする
- ・落書きできる壁
- ・ボルダリングできる壁
- ・園の中に巨大なすべり台

施設・設備（屋外）

- ・大きな校庭（園庭）
- ・いろいろな遊具
- ・築山、タイヤとび
- ・中庭
- ・ぴよんぴよんドーム
- ・芝生
- ・原っぱ、虫取り
- ・里山、ビオトープ
- ・飼育小屋
- ・学校林
- ・日陰ができる工夫
- ・地域の観察ができる屋上
- ・身体作りのため、あえて段差や起伏を作る工夫

第5章 意見要望の整理（必要な保育・教育活動）

カリキュラム

【専門的な学び】

- ・ 英語活動の充実
- ・ 専科の先生の指導
- ・ 出前講座
- ・ キャリア教育
- ・ 伝統文化の学び
- ・ お琴をカリキュラムに組み込む

【国見学】

- ・ 土地を生かした教育（田、畑、果樹園）
- ・ 国見町全体を学びのフィールドに
- ・ 国見学の情報発信→くにみ案内人として
- ・ 町行事と子どもたちの関わりを授業、課題として組み入れる

【交流・体験活動】

- ・ 他校、他地域との交流
- ・ 異年齢の交流
- ・ 体験活動（自然・本物）
- ・ 保幼小中一貫教育、カリキュラム
- ・ やりたいことができる
- ・ 野菜の栽培→給食（地域の方と）
- ・ 地域人材の活用（支援ボランティア）
- ・ 全校生がつながりを感じられる総合的な学習（農業体験、文化祭、運動会等）

カリキュラム

【認定こども園】

- ・プール、水遊びの機会をもっと多くする
- ・体にかかっても大丈夫な砂遊び
- ・どろんこ遊び、はだしで思いっきり遊べる
- ・危険、安全を体感できる経験
- ・音楽、美術などの芸術体験（スペース）
- ・星空観察
- ・蓮の育成
- ・スポーツ、運動の先生に教えてもらい、体をいっぱい動かす
- ・できないことをやらせるのではなく、できることを伸ばす保育
- ・特老との関わり
- ・先生が手をかけすぎない
- ・海、山、川の体験
- ・外国語（外国人）とのふれあい
- ・冬はスキー、そり遊び、田んぼスケート
- ・保護者向けに、スマホ・ゲームが脳に及ぼす影響の講演会
- ・特別支援保育、教育の配慮（教諭・保育士の確保も含め）

第5章 意見要望の整理（地域との関わりの在り方）

地域との共生

- ・ ボランティア活動
（掃除、草むしり、ごみ拾い、一人暮らし高齢者へのプレゼント配布等）
→何ができるか自分たち（子どもたち）で考える
- ・ 町の課題を具体化して可視化し、解決プロジェクトチームに子どもを参画させる
- ・ 町や地区のイベントに企画の段階から参加する
- ・ 模擬株式会社としての取り組み ・ 学校行事への招待
- ・ 子どもたちの不用品でバザー →SDGsの取り組みにもなる
→価格設定から販売まで行うことで、接客や算数の学習になる
- ・ 道の駅に「くにみ学園コーナー」を作る
- ・ 大人から子どもに協力を求める姿勢
- ・ 町のイベントポスター等美術部へ協力依頼する
- ・ 遊びや学習の指導ができるボランティア集団の育成
- ・ 部やサークルの充実（農業部、ごみ拾い部）

第5章 意見要望の整理（地域との関わりの在り方/その他）

一般開放

- ・音響設備が整った部屋 ・畳の部屋 ・コミュニティースペース ・調理室
- ・学習室、自習室 ・体育館（アリーナ） ・地域学校協働本部の設置
- ・生きていく力を学べる放課後活動 ・サークル（子どもから大人まで）
- ・地域の方がいろいろ教えてくれる ・子どもたちが休日、放課後過ごせる空間
- ・休日公園として開放 ・高校、大学からも戻ってこれる場所

その他

- ・ほけん、福祉部門との連携 ・相談体制の充実 ・教職員に余裕がある
- ・ブロックを超えた話し合いができる（教職員の連携）
- ・子どもも大人も毎日ワクワク ・子どもの特性や個性を認める
- ・おいしい給食（地産地消） ・失敗にめげずにどう乗り越えるかを考える機会
- ・つまずいても支援してもらえる教育 ・地域との連携 ・家庭教育の充実
- ・子どもたちの好きなことをのびのびできる ・SDGsの取り組み ・防災拠点
- ・学校としての機能をしっかり備える ・防犯セキュリティーの充実
- ・放課後デイサービスの併設 ・スクールバス待機所 ・部活の増加

第5章 意見要望の整理（子どもたちの願い）

子どもたちの願い

衛生的で心身共に
安全安心な学校生活環境

わくわく・楽しい
学校生活環境

快適な
学習環境

非合理性への
違和感の軽減

第5章 意見要望の整理（子どもたちの願い）

衛生的で心身共に安全安心な学校生活環境

- ・ 清潔な洋式トイレへの刷新
- ・ 安心・リラックススペースの確保（仮眠室含む）
- ・ 屋内プール（日焼けしないため）
- ・ 自販機・ウォーターサーバーの設置（水道水が苦い）
- ・ ロッカーを施錠式へ（荷物を見られたくない・入らない）
- ・ 夏の暑さ、冬の寒さ対策の充実化
- ・ ホワイトボード化（白い粉が飛んでくることが不快）
- ・ 着替え部屋の窓ガラスを曇りガラスへ（外から見えないか不安）

第5章 意見要望の整理（子どもたちの願い）

わくわく・楽しい学校生活環境

- ・ 中庭の整備
- ・ 寮の整備
- ・ 遊具の充実化
- ・ 動物との触れ合いの場の整備
- ・ 自然との触れ合いの場の整備
- ・ 給食やお弁当の選択肢の充実化
- ・ 購買部の設置
- ・ 屋上の利用
- ・ ゲームやスマホの持参許可
- ・ 自由な買い物の許可
- ・ 1人1つ植物を育てる
- ・ 文化祭への保育園児からの参加
- ・ 保育園児から中学生までみんな一緒にご飯を食べる
- ・ 保育園児から中学生までの一斉行事
- ・ シアターの設置
- ・ 各教室へピアノの配置
- ・ おやつを食べる時間
- ・ 自分が興味のあるものについての学習
- ・ 校外学習の充実
- ・ 学校への宿泊

第5章 意見要望の整理（子どもたちの願い）

快適な学習環境

- ・机を広くする
- ・机を固定する
- ・机を木ではない素材にする
- ・理科室等の器具の刷新
- ・ICT機器の有効活用
- ・席の自由化
- ・図書館の貸し出し冊数の見直し
- ・読書対象の拡充
(主に漫画や学校外部で借りた本を対象とすること)
- ・時間割を自分で決める
- ・宿題を一人一人変える
- ・オンライン授業の充実化
- ・文房具の自由化 (シャープペンシルの利用許可)
- ・中学生から勉強を教えてほしい

第5章 意見要望の整理（子どもたちの願い）

非合理性への違和感の軽減

- ・ エレベーター・エスカレーターの設置

理由：低学年児童が重い荷物を運んでいて可哀そう

体育などつかれたときに階段を上がるのがつらい

- ・ 制服の自由化／髪型や見た目の自由化

理由：女子は寒いのにスカートをはかなければいけない。服や髪形を選びたい。

- ・ 集団登下校の廃止

理由：自分の好きな時間に家を出たい

- ・ 自転車登校の許可／スクールバスの整備

理由：家が遠い人が通うのが大変

- ・ 清掃の外注

理由：ルンバにさせられる

- ・ 宿題を減らしてほしい

理由：習い事などもあり遊ぶ時間がないし、疲れていても休めない

- ・ 休み時間を長くしてほしい

理由：移動教室があると全然休めない

第5章 意見要望の聴取機会（参考）

○児童生徒・保護者・地域住民・教職員・教育委員会職員からの意見聴取

- ・ 令和4年5月24日 教育委員会職員ワークショップ
- ・ 令和4年6月1日 キックオフミーティング
- ・ 令和4年7月7日 第2回CS委員会
- ・ 令和4年7月21日 町教育研究会ワークショップ
- ・ 令和4年9月26日 第3回CS委員会
- ・ 令和4年11月10日 第4回CS委員会
- ・ 令和4年11月11日 タウンミーティング（国見小学校6年生）
- ・ 令和4年11月27日 第1回ワークショップ（保護者・地域住民対象）